

大学生による NAGASAKI の観光まちづくり 企画提案書（案）

1 趣旨

本提案は、21 世紀の交流都市・観光まちづくりのための司令塔を担う長崎市版 DMO のキックオフに併せて、大学生による NAGASAKI 観光まちづくりの新たな担い手チームを創設し、長崎のまちを良くしていきたいというシビックプライドを醸成するとともに次代をリードする観光提案を行うことを趣旨とする。

2 実施主体

長崎青年会議所、長崎国際観光コンベンション協会、長崎大学、長崎市

3 内容

大学生（大学院生、短大生、専門学校生、留学生も含む）が、主体的に長崎市の観光まちづくりに参画しながら、実情把握や他都市の視察等を行い、学生たちが自ら企画するプロジェクトを推進実行する。参加期間は、原則 1 年とするが、延長も可とする。

4 スケジュール

2018 年 8 月～ 実施関係者による検討会

2019 年 2 月 長崎サミットにて概要発表

2019 年 2～3 月 募集

2019 年 4 月 活動スタート

以降 毎年 2～3 月に新年度生を募集し、4 月より活動スタート

5 財源（収支計画）

（収 入） 企業協賛による

（主な支出） 広報経費

視察経費

活動費等

6 大学生を起点とした長崎市の観光まちづくりのバリューチェーン



活動内容

座学研修

- ・日本の観光の現状について（訪日外客統計、国の施策など）
- ・長崎市DMOについて
- ・長崎観光の現状と課題
- ・観光ビッグデータの等の読み方、応用法（ICT基盤センターにて）等

現地研修

- ・観光まちづくりに参画（顧客サイド視点、提供サイド視点）
- ・イベントにスタッフとして参加（帆船まつり、ランタンフェスティバル等）
- ・長崎さるく、着地型旅行に参加
- ・観光スポット、観光ルート、クルーズ船等の見学
- ・日本版DMO先進地の視察（沖縄等）等

プロジェクトの企画・実施

- ・世界の若者が長崎に興味を持ち、行ってみたいと思わせる取り組みを実践
- ・長崎青年会議所、長崎大学等でフォロー

活動の意義

- ・観光まちづくりに携わることで、学生たちがワクワクできる場を提供
- ・将来の中核的な担い手となる社会人を育成
- ・シビックプライドを醸成し、卒業後の地元での就職や起業を促す
- ・次世代につながる、社会活動への継続的な貢献
- ・若者視点での画期的な観光まちづくり企画の実践

